

第 3 回獣害対策集落リーダー育成研修会を開催

10 月 30 日に第 3 回獣害対策集落リーダー育成研修会を、彦根市鳥居本宮田集落と多賀町水谷集落で開催しました。研修会には 18 名の参加がありました。

当課では集落ぐるみによる獣害被害防止対策を進めるため、リーダー育成を図っています。第 1 回目の研修会ではサルのテレメトリ調査と追い払い方法について、第 2 回目はサルの捕獲と追い払いについて研修を行いました。

今回は彦根市宮田町では多獣種対応の簡易獣害防護柵「おじろ用心棒」を見学、設置している農家から直接防止効果について話をいただきました。また、多賀町水谷ではハウス型の防止柵を見学し、農業技術振興センター革新支援部の海老原副参事より「サルの来ない村にもどるには」と題して、サルの追い払いのポイントについての説明と実演を行いました。

サルの被害集落からの参加者が多いため柵の設置や追い払いへの関心は高く、柵の管理方法などの質問をされたり、参加者同士での情報交換が行われるなど活気溢れる研修会となりました。3 回の研修会すべて出席された 2 名の方には修了証が交付され、今後集落の視点に立った獣害対策が期待されます。

研修会後のアンケートでは、集落で研修会説明会を行いたいという要望が複数寄せられており、今後現地での対応を進めていきます。



おじろ用心棒の効果を確認



サルの追い払いについて研修